

令和元年度

県南地区「学校と地域の連携・協働」活動事例一覧

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
大 仙 市	花館小学校	地域の伝統を守る「かしま流し」 地域の伝統行事を全校児童で行い、縦割りグループで舟に乗せるかしま人形作りをする。 地域の方々には、わらを使った人形の芯作りの指導や草でできた3mあまりもある舟作りをしていたいている。	○ 悪天候のため舟を流せなかったが、舟を完成させる充実感を味わったり、お年寄りへの感謝の思いをもったりすることができ、地域を愛する心を育むことができた。 ● お年寄りの中でも高齢化が進み、指導したり製作してくださったりする方々の確保が難しくなりつつある。	・ 花館地区老人クラブ ・ P T A総務部
大 仙 市	藤木小学校	地域の力を活用した「米づくり」 5年生を中心に全校児童が米作りについて田植えや稲刈りを体験する。 米作りを通して、地元の農家や地域の方々の苦労や努力について学ぶ。調理した米を保護者と児童と一緒に食べ、収穫の喜びを味わう。	○ 米作りの苦労や収穫の喜びを全校児童が一体となって体験することで、学校全体が一つになることができた。 ● 地域の協力者の高齢化や人材確保、予算の確保などについて検討していく必要がある。	・ 米作り農家 ・ J A職員
大 仙 市	四ツ屋小学校	地域連携、校種間連携で行う「米作り体験学習」 5年生を対象に田植え・稲刈り・米の販売の3つの活動を体験する。 地元のJ A職員、農業従事者、農業高校職員や生徒から指導をいただく。近隣のこども園とも交流しながら米作りをし、地元のスーパーで米の販売を行う。米の栽培、収穫、販売を通して、もの作りの苦労や喜びを地域の方々の協力のもとで学ぶ。	○ もの作りを通して、人との触れ合いができることが何よりの成果だと感じている。高校生との交流では農業に対する姿勢を学べたこともよい機会となった。 ● 学校が連携先に頼りきりになるのではなく、活動の主体性をもつことや継続的な連携ができる組織づくりを地域と共に行っていく必要性を感じている。	・ J A秋田おばこ（営農センター） ・ J A秋田おばこ青年部 ・ 農業従事者（地域ボランティア） ・ 大曲農業高等学校 ・ 四ツ屋こども園 ・ どれみ保育園

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
大 仙 市	角間川小学校	地域の人に学ぶ 角間川の名人発見（2年生）、職場体験（6年生） 2年生は、生活科の学習で仕事の様子を見学したり、仕事をしている方々にインタビューしたりして町や町の人によさに気付く。6年生は、2年生が見学した事業所などで職場体験を行い、町で仕事をしている方々の生き方について学ぶ。	○ 仕事をしている方々を通して、生き方や角間川の町のよさを学ぶことができた。子どもたちには町に対する親しみが生まれ、校外での交流も生まれた。具体的な教育活動を通して、学校の教育方針を町の方々にも理解していただく機会となった。 ● 2年生の生活科での学習が6年生の職場体験につながるよう、他学年のカリキュラムを工夫したい。	・菓子店 ・ガソリンスタンド ・食堂 ・コンビニエンスストア ・福祉施設 ・保育園 ・地域支援コーディネーター
大 仙 市	神岡小学校	ニコニコサンデー 保護者・地域住民・行政を巻き込んだ感謝祭で、様々な行事に協力してくださった方々を招待する。スライドショーで振り返りをしたり、お年寄りと一緒に昔の遊びや縄跳びをしたりする。5年生が収穫した餅米で餅つき体験をして参加者に振る舞う。	○ 児童だけでなく、保護者・地域住民も楽しみにしている。餅を雑煮にして、700名分を準備して好評である。 ● 臼が古くなってきているが、なかなか新品を準備できない。	・社会福祉協議会神岡支部 ・がっこ茶（地域のお年寄り）
大 仙 市	西仙北小学校	「そよ風」さんによる読み聞かせ 「そよ風」さんは、地域の読み聞かせボランティアである。週初めの朝自習の時間に低学年を対象に教室ごとに読み聞かせをしていただいている。10月には、児童集会「本と仲良し集会」で全校児童を対象に、毎年読み聞かせをしてもらっている。	○ 1・2年生の児童はとても楽しみにしている。ボランティアの方々からは礼儀正しく、真剣に聞いてくれてうれしいとお褒めの言葉をいただいている。 ● 特になし。	・西仙北図書館 ・学校支援ボランティア

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
大 仙 市	豊岡小学校	地域と共に歩む「学校田活動」 全校児童が地域の支援を受けながら学校田の田植え・稲刈り体験をする。その他の稲作作業は5年生が行う。児童が企画・運営する収穫感謝祭で、学校田活動で学んだことを発表したり、収穫の喜びや地域への感謝の気持ちを表したりする。 これらの活動を通して、地域や農業に対する愛着心を育てる。	○ 地域との触れ合いは子どもたちにとって貴重な体験であり、地域の一員としての自覚の高まりや地域への愛着の深まりを感じることができた。 ● 協力してくれる地域住民が限られており、協力への呼びかけに工夫が必要である。	・ 水土里ネット田沢疎水 ・ 稲作農家 ・ J A おばこ女性部 ・ 地域住民 (田植え、稲刈り指導)
大 仙 市	協和小学校	地域の力を活用した「だまこもちづくり」 6年生を対象にだまこもちづくりを体験する。体験を通して、伝統料理の素晴らしさや地域の方々の生き方を学ぶ。	○ だまこもちをこねたり、ガラをベースにしたつゆ作りを体験することができた。後日、家庭でも実際に作ったという子どもが数名いた。 ● 2時間の予定であったが、時間がオーバーしてしまい、次の活動に支障を来した。地域人材にお願いする場合、時間配分が課題である。	・ J A 職員 ・ 学校支援ボランティア ・ 西部健康増進センター
大 仙 市	南外小学校	こめこめ大作戦「地域の協力をいただいた米作り」 地域の主要産業である米作りを地域の方々や老人クラブ、保護者などの協力を得ながら行っている。お世話になった方々を招待しておにぎりパーティを開き、感謝の気持ちを表現している。 田植えや稲刈りを体験することで、働くことの大切さや苦勞・喜びなどを知り、農業に対する興味・関心を高めることをねらいとしている。	○ こめこめ大作戦は、縦割りグループで協力しながら、土に触れ、汗を流し、一生懸命に働く貴重な体験活動となっている。 ● 田んぼの管理を地域コーディネーターにお願いしているが負担が大きい。今後どのように管理していくかが課題になっている。	・ 地域コーディネーター ・ 南外老人クラブ連合会 ・ 地域協力者 ・ 保護者

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
大 仙 市	高梨小学校	「米米探検隊」地域の“お米の先生”から学ぶ 5年生が総合的な学習の時間に、地域の基幹産業である農業の稲作を取り上げて学習する。 JAを窓口として、地域の営農集団の“お米の先生”の協力のもと、田植え・稲刈り・米料理・米の販売を体験した。	○ 農作業を体験することで、楽しさや苦労を知ることができた。農業への関心や生産者への感謝の心が育ってきた。 ● 子どもたちの課題解決によりつながるように、必要な活動を検討し、営農集団と連絡調整をしていきたい。	・ 営農集団 ・ JA職員
大 仙 市	横堀小学校	学校田を活用した「代かき（どろんこ遊び）・田植え・稲刈り」体験 1・2年生の生活科の学習で、田植え前の代かきを兼ねて、土と触れる「どろんこ遊び」をする。 4・5年生は総合的な学習の時間で、保護者や地域の老人クラブの協力を得ながら「田植え体験」や「稲刈り体験」を行うことで、稲作の現状や課題、工夫などについて学ぶ。	○ 保護者や地域の方々からサポートを受けながら思いっきり土に触れたり、米作りの大変さ、喜びを感じることができた。 ● 次年度は、米作り体験を基に、子どもがより主体となって課題を設定し、その課題を解決するために地域に働きかけるなどの学習活動の実施を検討している。	・ 地域の学校田所有者 ・ 保護者、祖父母 ・ 北寿会（老人クラブ）
大 仙 市	太田東小学校	地域ボランティアによる「読み聞かせ」 全校児童を対象に、地域ボランティアの方々による絵本の読み聞かせを月1回程度実施する。	○ 学年に応じた本を選び、心を込めた読み聞かせを行ってくださることで、児童の情操教育に役立っている。 ● 今年度は中学校と連携し、中学生による読み聞かせもしていただいた。次年度以降も継続し、小中連携を深めていきたい。	・ 読み聞かせボランティア「いろりの会」 ・ 太田中学校

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
大 仙 市	太田南小学校	横沢曲がりねぎ植栽活動 ふるさと教育の一環として、江戸時代より横沢地区で受け継がれてきた「横沢曲がりねぎ」を3・4年生が栽培する。（途中、成長したねぎを掘り起こして「寝かせ」作業をする。収穫までは2年を要する。）収穫した横沢曲がりねぎは、秋のなべっこで全校児童やお世話になった方々に振る舞う。	○ 地元に伝わる横沢曲がりねぎを栽培したことで、ふるさとに対する愛着の気持ちが深まった。 ● 収穫までの年間スケジュールを立て、計画的に栽培していくことを考える必要がある。	・ 地域支援コーディネーター ・ 曲がりねぎ栽培農家 ・ 農業振興情報センター職員
大 仙 市	太田北小学校	第13回全校音楽劇 「みつばちマーヤとゆかいな仲間達」 本校では2007年度から連続13回の公演に取り組んできた。今年度は山下太郎顕彰育英会地域文化奨励賞受賞を励みに地域と保護者、関係機関と連携し、子どもたちの考えたシナリオを基に、オリジナルの物語に挑戦した。中仙市民会館ドンパルで公演を行い、好評を得ることができた。	○ 子どもたちはこの音楽劇を通して、自己有用感を味わい、協力していただいている保護者・関係機関への感謝の心を醸成することができた。 ● 新学習指導要領実施を控え、効果的な準備・練習の計画・運用と地域・保護者・関係機関との密なる連絡調整の必要がある。	・ 専門家 （舞台監督、演出、脚本） （音響、照明） ・ バンドメンバー （ボランティア） ・ 本校PTA会員 ・ 地元パン工房
仙 北 市	角館小学校	地域の力を活用したものづくり体験学習 「わくわく・どきどきランド」 3年生を対象に体験することが少なくなってきたものづくりにチャレンジする。地域の方々に講師に迎え、作り方を教えていただきながら交流し、活動する。 ・ 飛行機 ・ ぶんぶんごま ・ パラシュート ・ 押し花飾り ・ 干支（ねずみ）飾り ・ パッチン入れ物 ・ 押し花絵	○ 講師の先生方は、うまく作れず困っている児童にも成功するように根気強く指導してくださる。そのため、児童は満足感が得られ、ものづくりに対する関心も高まった。 ● 児童の希望になるべく応えられるよう様々なコースを用意し、対応していくことを検討している。	・ 地域学校協働活動推進員 ・ 野の花クラブ ・ さんさん企画 ・ パッチワークの会 ・ 地域ボランティア （こま作り） （飛行機作り） （パラシュート作り）

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
仙北市	中川小学校	「みんなニコニコ米」生産・販売活動 全校児童を対象に、田植え・稲刈り・稲架がけ・販売活動までを体験する。田んぼは地元の農家からお借りし、田植え・稲刈り・稲架がけの作業はボランティアの方々に教えていただきながら行う。販売活動は秋田市の食器屋さんにご協力をいただき、アゴラ広場に出店して行う。	○ 手作業での米作りの大変さ、有機栽培・天日干しのお米のおいしさ、販売活動が成功したときの達成感などを実感することができた。 ● 一連の活動が成立するための栽培田の確保と、ボランティアや販売協力者などの確保。	・ 米作り農家 ・ 学校支援ボランティア（ニコニコ米） ・ 秋田市の食器屋
仙北市	生保内小学校	ふるさと学習を支える「生小応援団」 生活科の町探検、総合的な学習の時間のグループ別活動、地域学習などで講師として活躍していただいている。主な活動は次の通りである。 2年生…まちたんけん（7・11月） 4年生…仙北市調査・体験（10月） 仙北市PR・販売体験（11月） 5年生…クニマスの歴史講話（12月）	○ 地域の協力を得て多くのスタッフで活動を展開することで、より細分化されたグループでの活動が可能となり、児童一人一人の思いや願いを生かすことができた。 ● 地域のひと・もの・ことの関わりを大切にしながら、学年の発達段階に即して、ふるさとのよさに気付く学習が展開されるような持続可能な計画・体制の整備。	「生小応援団」 ・ 生保内地域運営体 ・ 生保内友の会 ・ おはなしの会アトリエ ・ SMILE DRAGON秋田支部 ・ 田沢湖公民館
仙北市	神代小学校	総合的な学習の時間「いぶり大根作り」 3年生の総合的な学習の時間の単元。地域住民の生活を支える「農業」の学習を、栽培・収穫・加工・商品化・販売とつなげることで、「生活と環境」にまで学びを広げ、深めることをねらいとした一連の体験的な学習活動。	○ 経験豊富な地域の高齢者やプロのデザイナーなどから各工程で指導への協力をいただいた。様々な方々と触れ合う多様な学習活動を通して、体験的に学ぶことができている。 ● 児童数の減少、長年協力をいただいている方々の高齢化により、充実した学習の継続を見据え、活動内容や計画の見直し、新たな人材確保などが必要となる。	・ 地域運営体（大根の種まき、栽培、収穫、加工の指導） ・ デザイナー（商品パッケージデザイン指導） ・ 小売業者（販売）

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
仙北市	西明寺小学校	ようこそ ふるさと先生 市内在住の文化的活動や地域貢献活動で活躍している方々を講師として招く。交流を通して、活動への思いや学び続ける姿勢に触れ、ふるさとに対する自分の考えを深める。 1・2年生…紙工作体験 3年生…田沢湖にまつわるお話会 4年生…茶道体験 5年生…子ども写真教室 6年生…角館歴史探訪	○ 地域の方々の協力を得ながら学習を進めることで、地域に対する関心の高まりと同時に、自分たちの住む地域を大切にしていこうとする思いを深めることができた。 ● 講師の方々の高齢化や後継者不足などの問題から、学習活動継続のための人材リストの整理が必要である。	・ ひまわりの会（紙工作） ・ 語りの会（お話会） ・ 秋田官休会（茶道） ・ 写真館（写真教室） ・ 生涯学習奨励員（歴史） ・ 西木公民館
美郷町	千畑小学校	清水の環境保全活動 毎年、5年生の総合的な学習の時間に、千畑地域の清水の見学や学校の敷地内にあるビオトープの清掃に地域の方々の協力を得ながら取り組む。男鹿水族館G A Oと連携し、イバトミヨの生態についても学ぶ。	○ 千畑地区の環境の素晴らしさを実感することができた。地域の環境を守るために活動している方々の存在を知り、思いの深さを知ることができた。 ● 今後も地域の方々と協力して行う活動を継続し、ふるさと千畑を大切にするとともに、地域に根ざした児童のキャリア意識を高めていきたい。	・ 地域自治会 ・ 美郷町農地・水環境保全組織 ・ 仙北地域振興局 ・ 地元企業 ・ 学校支援ボランティア
横手市	横手南小学校	みなみんなまつり～なべっこ～ 全校児童が縦割り班（60班）に分かれ、まず校内でゲームなどの交流活動を行う。その後、グラウンドで薪を燃やして、芋の子汁を作る活動を行う。ボランティア団体「ジョヤサの会」に協力を仰ぎ子どもだけでは不安な場面での声かけや手伝いをお願いしている。	○ 縦割り班の活動で、高学年が低学年の面倒を見たり、低学年が高学年に学んだりすることで、仲間意識や自己有用感を高めることができた。 ● 今回は、当日の天候不順のため活動内容に変更があった。大部分は対応できたが、ボランティアの方々に一部戸惑いがあった。連絡の仕方に工夫が必要である。	・ 横手南小学校PTAを応援する会「ジョヤサの会」

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
横手市	朝倉小学校	昔語りにチャレンジ 地域の方々から秋田弁で昔語りを教えてもらったり、老人福祉施設を訪問して練習の成果を発表したりする。伝統文化のよさに触れ、地域の方との交流を楽しむ。	○ 昔から伝わる地域の文化のよさについて、体験を通して学ぶことができた。訪問先の施設利用者に喜んでもらったり、感謝の声をかけてもらったりし、次の活動への意欲付けができた。 ● 訪問先との時間調整が難しい。早めの連絡調整を行う必要がある。今後も内容や実施期間などを検討しながら、継続していきたい。	・ 昔語り名人（地域の先生） ・ 老人福祉施設 ・ 地域公民館
横手市	旭小学校	ふるさと横手を見つめて ～ひだまり米作り体験プロジェクト～ 5年生が餅米作りの体験をする。代掻き（代掻きドッジボール）、田植え、稲刈り、餅米販売、餅つきなどの活動を行い、ふるさと横手を見つめ直し、米作りを通して食や環境について考える。	○ 初めて米作りをする子どもたちがほとんどであるが、地域や行政の方々のご協力で、意欲的に活動を進めることができた。キャリア教育としての意義も大きかった。 ● 農家の方々是天候や自然条件に左右されるなど苦勞を乗り越えて米作りをしており、日々の努力や工夫により収穫の喜びがあることを実感させることができればよい。	・ J A秋田ふるさと青年部 ・ 美土里ネット南旭川 ・ 学年保護者、祖父母
横手市	横手北小学校	地域の力を活用した 「金沢掛唄横手チャレンジ☆キッズ」 金沢地区の伝統行事である「金沢掛唄」にチャレンジする児童を募集し、地域の保存会の方々にご指導していただき、校内の学習発表会や祭典当日、横手市の子ども伝統芸能発表会などで発表する。活動を通して、地域の方々と触れ合い、ふるさとをのよさを実感する。	○ 地域に受け継がれている伝統に触れることを通して、ふるさとをのよさを実感することができた。そして、伝統を受け継ごうとする心情を養うことができた。 ● 横手北小学区には金沢地区以外の児童も多数おり、地域の垣根を越えた活動となるような支援を検討したい。	・ 金沢掛唄保存会 ・ 横手市教育委員会（文化財保護課）

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
横手市	増田小学校	地域の高校と連携した稲作活動 高校の学校田を活用し、高校生と協働で稲作を体験する。地域局や地域の婦人会とも連携して、播種田植え、成長調査、稲刈り、収穫米を使ったのり巻きづくりなど、地域の生産活動と食文化を学ぶ。	○ 稲作の作業をただ体験するだけでなく成長を観察したり、稲作を巡る課題について考えたりするなど、生産活動を多面的に学ぶことができた。 ● 多くの活動が高校の運営によるところが大きい、小学校としてより主体的に関わっていく在り方について検討していきたい。	・ 増田高等学校 ・ 増田地域局産業建設係 ・ 増田地域生活研究グループ
横手市	浅舞小学校	ひまわりプロジェクト2019 ひまわりを中心とした人と関わる体験活動を通して、自然や地域の人々のよさを感じ、ふるさとを大切に作る心情を育てる。 主な活動は次の通りである。 ・ ひまわりの栽培・種取り ・ ひまわり絵画コンクール・絵画展 ・ ひまわり油の販売と収益金の地域への還元	○ ひまわりプロジェクトの活動を通して地域の方や家族と触れ合う機会をもつことができ、活動に協力してくださった方々への感謝の気持ちを育むことができた。 ● 授業時数の制限もある中で、児童の体験活動を確保しつつ、児童の主体的活動をより充実させていくための工夫について検討していく必要がある。	・ 地域の農家（用地・起耕） ・ 田中ボランティア ・ J A 青年部 ・ 浅舞街部地区会議 ・ 横手市社会福祉協議会 ・ 浅舞地区の保育所・園 ・ 平鹿中学校美術部 ・ 横手支援学校
横手市	吉田小学校	祖父母招待「おにぎり会」 地域の田んぼをお借りして田植え・稲刈りを体験させていただいている。収穫した米を使って全校でおにぎりを作り、祖父母や家族、地域の方々にごちそうをする。楽しく会食することを通して、子どもたちの様子を知っていただき、祖父母や地域の方々の思いや願いについて学ぶ。	○ 祖父母や地域の方々には好評で、強く継続を望まれている。地域の産業品であるお米を通して、地域の方々との交流が深まった。 ● 収穫に感謝し、祖父母や地域の方々との交流だけでなく、地域の伝統芸能などを取り入れたふるさと教育の推進の一つとして行事をつくれないうか検討している。	・ 米作り農家 ・ 田植え、稲刈り支援ボランティア ・ J A 職員

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
横手市	醍醐小学校	「キラリ 食と環境調査隊」 (総合的な学習の時間、社会科とも関連) 地域の水田をお借りして代掻き・田植え・稲刈りなどの稲作を体験的に学んだ。週1回の稲の観察会では、稲の生育や仕事の内容などについて説明を受けたり、質疑応答をしたりする機会を数回設けた。収穫した米は、PTA親子レクリエーションで一緒に味わった。	○ 体験を通して学習することで、人や自然に触れ、自らの食生活や環境との関わり、働く人や食への感謝の気持ちを高めることができた。 ● 新規の取組で活動計画立案が年度当初となり、迷惑をかけた点があった。継続していくためには、前年度から依頼や協力体制の構築が必要である。	・米作り農家 ・JA秋田ふるさと
横手市	雄物川小学校	夢に向かって明日を創る「夢集会」 雄物川町内外から20名の夢先生を迎え、仕事に対する思いや夢の実現のために大切にしていることなどの話を聞いたり、実際に体験したりする。自分が学校で学んでいる意味や今の自分が将来につながっていることを知り、夢に向かってよりよい自分や学校生活を創っていこうとする気持ちを高める。	○ 事前にねらいを伝え、ねらいに合った話を分かりやすく伝えてもらった。大事にしたいキーワードを板書したことで、ねらいを十分達成することができた。 ● 夢先生としてふさわしい人材の発掘と依頼に時間がかかる。全校児童から希望を取り、夢先生の講座ごとに割り振る作業や職員の役割分担・打合せが必要である。	・司書 ・看護師 ・消防士 ・農家 ・薬剤師 ・声楽家 ・花屋 ・アニメーター ・保育士 ・特殊印刷職人 ・栄養教諭 ・建築業者 ・市役所職員 ・報道記者 ・旅行添乗員 ・園芸農家 ・イベント企画者 ・干し餅づくり職人 ・ウェディングプランナー
横手市	十文字第二小学校	第61回「孫の教育を語る会」 地域の方々の協力を得て、学習田で餅米を栽培している。語る会には、祖父母や地域の方々が参加して、餅米の販売体験やついた餅での昼食会を行う。児童が祖父母と一緒に民話を聞き、縄ないや昔の遊びの体験活動も行う。 全校児童が祖父母、地域住民と一緒にになり、収穫の喜びを味わうとともに、心の交流を深める機会である。	○ 児童がお世話になった方々に感謝する気持ちやふるさとを大切にすることを育てることができた。祖父母や地域住民も、伝統あるこの会を毎年楽しみにしている。 ● 運営上はPTAの負担が大きく、簡素化などの工夫が必要である。令和2年度末には閉校となるので、会の在り方についても検討していかなければならない。	・二小を語る会 (学校後援団体) ・横手市三重公民館 ・PTA ・地域ボランティア (縄ない、昔の遊び、民話) ・JA十文字営農センター ・児童の祖父母

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
横手市	睦合小学校	学区一周駅伝大会 10月20日（日）に今年で45回目の駅伝大会を開催した。全校児童82名が4チームに分かれて襷をつなぎ、睦合地区全町内18.3km、20区間を力走する本校の一大行事である。 昨年度から参加している保護者チームも交通安全を呼びかけながら参加したり、走者に校長先生の協力も得たりしながら意欲的に参加した。	○ 地域の方々の応援が途切れることなく続いていた。子どもたちはみんなに応援され、守られている安心感と地域との一体感を感じることができた。 ● 閉校まで残り1年、閉校後は統合校での実施は難しいと思う。どんな歴史の引き継ぎができるかも次年度以降検討していきたい。	・ 交通指導隊 ・ 交通安全協会 ・ 学校支援ボランティア ・ P T A 役員
横手市	山内小学校	山内の特産品「いものこ」を育てよう いものこ（里芋）栽培を通して、ふるさとの自然や人々、文化・産業に触れ、ふるさとのよさを発見し、地域の一員としての自覚やふるさとへの愛着の気持ちを育むことをねらいとしている。定植作業、土寄せ体験、収穫をいものこ農家の方々に指導していただきながら、主に全校児童縦割り班で行っている。	○ 地域の農家の方から植え方や世話の仕方、収穫の仕方などを教えていただきながら、地域の特産品への理解を深めふるさとへの愛着の気持ちを高めることができた。 ● 学校行事として行っているが、総合的な学習の時間と関連付けて行うことができるように計画の見直しをする。	・ いものこ農家
横手市	大雄小学校	飛び出せ大雄っ子活動 6年生 食農体験学習 枝豆の作付けや収穫体験、その大豆を使った味噌仕込みなどを通して、横手の農業と食文化について関心を持ち、郷土を大切にしようとする気持ちを育てる。	○ 収穫の大変さや喜びを味わうことができた。味噌作りや講話を通して、横手の発酵文化を継承・進化させようと努力している方々の思いを知ることができた。 ● 自分たちで作った味噌を使った調理や家庭とつながる活動などを工夫し、体験活動を充実させたい。	・ 横手市農林部食農推進課 ・ 横手市園芸振興拠点センター ・ よこて発酵文化研究所（副所長、醸造・発酵部会）

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
湯沢市	湯沢西小学校	伝えよう湯沢の雪まつり 地域の伝統行事を学んだり、行事に関わる製作活動に取り組んだりすることを通して、地域の人々の暮らしや伝統や文化の特色を知り、そのよさを味わう。犬っこの由来を学び、米粉をこねて犬の形にする製作活動を行う。地域の酒蔵の玄関をお借りして観光客へのしんこ細工プレゼントを行う。	○ 伝統行事のよさを感じ、活動に対する児童の達成感が高まっている。地域ボランティアや保護者が指導や準備などを担えるようになり、継続することができている。 ● 伝統行事を地域全体で盛り上げる意味で、親子が協力してしんこ細工を製作する活動にしたいが、平日のため参加できる保護者は2割弱程度にとどまっている。	・ 学校支援ボランティア ・ 学年の保護者 ・ 犬っこまつり担当市職員
湯沢市	山田小学校	身近な地区の「防災マップづくり」 4・5年生を対象に、自主防災アドバイザーを活用して地震を想定した防災マップを作成した。子どもたちは事前に調べた自分の住む地区の危険箇所や災害時役に立ちそうな場所に加え、山田っ子安全隊（見守り隊）や民生児童委員の方々からアドバイスをいただき、マップに書き入れ、身近な地区の防災について考えた。	○ 子どもたちが自分のこととして、身近な地区の防災について考えることができた。子どもたちなりに登下校時や遊んでいる時などを想定し危険な場所を考えていた。 ● 地区の範囲が広く、事前に地区を歩きながら調べる活動の時間を確保できなかった。こうした活動を入れることで更に充実した活動になると思われる。	・ 山田っ子安全隊（見守り隊） ・ 民生児童委員 ・ 学校支援ボランティア
湯沢市	須川小学校	地域のプロに学ぶ農業「ひろっこづくり」 全校児童を対象に、ひろっこ栽培と収穫を体験する。地域の特色ある農産物「ひろっこ」を育てて収穫し、味わう。この体験によって、地域産業への関心を高め、地域への愛着を育む。	○ 雪国ならではの活動は大変だが、その体験をすることで地域のよさを感じ、継承していく意義を感じることができた。 ● 学年の段階に応じた活動内容や統合後の実施方法について、検討に取りかかる必要がある。	・ ひろっこ作り農家 ・ 須川小学校PTA有志 ・ 学校支援ボランティア

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
湯沢市	稲庭小学校	校庭の桜古木群への追肥作業 地域の有志の方々から校庭の桜古木群についての講話をいただき、指導を仰ぎながら追肥作業を行った。	○ 古木についての知識を得て、その保護活動の一端を担うことにより、母校に対する認識を新たにした。保護のためにがんばってきた地域の人々の思いに触れることができた。 ● さらに自発的な活動とするため、作業の進め方や縦割りグループの有効活用についての検討が必要である。	・ 地域ボランティア（古木保護活動）
湯沢市	三梨小学校	地域と一緒に活動し、生活体験を豊かにする「もちつき会」 全校児童を対象に臼と杵を使って餅つきを体験させる。餅つきを通して、地域の自然や文化に触れさせ、親しませることにより、郷土への愛着心や地域の一員としての誇りをもたせる。	○ 餅つきや会食を通して、収穫の喜びを感じる活動となった。児童は杵を持って餅をつくことで自分の成長を感じ、家庭や地域の人から伝統文化を学ぶことができた。 ● 活動の前に物品の確認をしておき、会がスムーズに進むように配慮する。役割分担や準備について共通理解を図り次年度につなげたい。	・ 米作り農家 ・ 学校支援ボランティア
湯沢市	川連小学校	すごいぞ！川連漆器職人 5年生が総合的な学習の時間で、地元の川連漆器について学習する。若手の漆器職人を二人招き、実物を手に取りながら漆器製作に関する説明を聞いたり、職人としてのやりがいや夢などをインタビューしたりして、その内容を新聞にまとめる。	○ 自分の地域や産業に対する誇りと愛着を実感することができた。来年度、6年生になってから行う卒業制作へのよい意欲付けとなった。 ● 4年生のときに伝統工芸館を見学するなどして、川連漆器に関する基本的な知識を事前に学習する機会をもつことで、より深まりのある学習になるように計画したい。	・ 漆器協同組合 ・ 地域コーディネーター

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
湯沢市	駒形小学校	地域の力を活用した農園活動 5年生が主となり、米作りの活動を行う。その稲藁を活用して縄をない、「田の神様」に豊作を願う雪中田植えの儀式を全校児童で行う。 6年男児衣装（菅笠、ケラ、ハバキ、藁ぐつ） 6年女児衣装（ミノボッチ、藁ながくつ）	○ 働くことの大切さや意義を感じるとともに、ふるさとの伝統行事を引き継いでいこうとする意欲を醸成できた。 ● 地域の協力者が高齢化してきており、新たな人材の発掘が急務である。	・ 田んぼの先生夫婦 ・ 美土里ネット職員 ・ 資源保全会 ・ 若駒支援隊 ・ 学校支援ボランティア
湯沢市	雄勝小学校	地域ボランティアの協力による「花いっぱい運動」と「農園活動」 地域ボランティアが児童のプランターへの花植えを支援した。1年生は併設する雄勝中学校の3年生と一緒にプランターの花植えをし、環境美化に取り組んだ。4年生は農園活動で収穫した枝豆を地元にある「おがち道の駅」で販売し、地域住民との交流を深めた。	○ 児童が地域の子どもとして、コミュニティという大きな懐の中で、安心して育っていくための基盤が形成されている。 ● 花や農作物を植えた後の管理体制に課題が残る。（散水、雑草抜きなど）	「花いっぱい運動」 ・ 学校支援ボランティア ・ 市福祉課 ・ J A 「農園活動」 ・ 学校支援ボランティア
湯沢市	皆瀬小学校	学校運営協議会でつくるキャリア教育 5・6年生を縦割り5グループに分けて、働くことの意義について話を聞く。 「仕事の内容、魅力、苦労」 「働くことによって得られる喜び、満足感」 「その仕事についた理由」 「今学んでいることが将来にどうつながるか」について学ぶ。	○ これからの生活で大切にしたいことや人のために何かをすることがとても大切なことを知ることができた、という前向きな振り返りがたくさんあった。 ● 子どもたちだけでなく、親にも呼びかけて勉強する機会にしたい。	・ 学校運営協議会 ・ 湯沢市役所 ・ 皆瀬保育園 ・ 皆瀬更生園 ・ J A こまち

1 小学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
羽後町	羽後明成小学校	祖父母ふれあいなべっこ会 全校児童と祖父母、地域のお年寄りが手踊りや昔遊び、縄ないなどを一緒に体験する。学校農園でとれた里芋を使っていものこ汁を作り、地域ごとになべを囲んでなべっこ会を行う。祖父母や地域の方々と触れ合いながら、様々な体験することで自分を取り巻く地域の温かさを知る。	○ 今年も好評であった。手踊りや縄ないなどの体験が楽しく、祖父母と一緒にいものこ汁を作ったり、食べたりする活動は和気あいあいとして充実していた。 ● 触れ合いの内容や時間配分について更に工夫が必要である。事前準備の大変さや天候に左右されるなどの問題点もある。	・ 学校運営協議会 ・ 地域学校協働本部 ・ P T A文化研修部 ・ 社会福祉協議会（新成支会、明治支会） ・ J A職員（学校農園） ・ 地域ボランティア（手踊り、縄ない講師）
羽後町	高瀬小学校	高瀬っ子 夢キラッとプロジェクト ふるさとのよさを知り、ふるさに生きること誇りと喜びを感じるとともに、地域の方々と関わりながら伝統を継承していこうとする意識と夢を育むことをねらいとしている。 3年生以上が総合的な学習の時間でのキャリア教育の一環として、田代太鼓、仙道番楽、西馬音内盆踊りを学び、学習発表会などで発信している。	○ 指導団体の方々の素晴らしい模範演技と丁寧な指導、それを受けて熱心に練習する児童の姿勢が相乗効果を生み、心の交流が図られている。 ● 3つの芸能をローテーションして体験する際のモチベーションの高め方と、より多様な発信の方法と機会について模索している。	・ 地域芸能保存団体（太鼓） ・ 地域伝統芸能保存団体（仙道番楽）（西馬音内盆踊り）
東成瀬村	東成瀬小学校	ふるさと先生に学ぶ地域の伝統行事 村に古くから伝わる10種類の伝統行事の中から、各学年の学習内容に合った伝統行事を選択する。それらに関わる説話を聞いたり、体験活動を行ったりするとともに、伝統行事に関わる昔話を聞く。体験活動を通して、先人の暮らしをよくするための工夫や努力、思いや願いに触れる。	○ 行事のいわれや活動の意味を知り、体験することで先人の思いが途切れず、つながっていることに気付き、自分自身も伝統行事を大切にしたいという思いが育まれる。 ● 体験活動の楽しさから、ねらいや活動の目的が薄れてしまうこともある。一人一人が課題意識をもって活動できるように事前、事後の活動を充実させる必要がある。	・ 地域支援ボランティア（年中行事、昔語り）

2 中学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
大仙市	大曲西中学校	地域の力を活用した探究活動「地域を元気に」 (総合的な学習の時間) 「地域を元気にするために自分たちができることは何か」をテーマとして、全校縦割りのグループで探究的な学習を行う。 地域にある事業所での体験や調査活動などを通して地域のよさに気付くとともに、地域貢献の意識を高め、ふるさとを愛する心の醸成を図る。	○ 地域のよさに気付くことができた。地域の方々との交流を深め、地域に貢献しようという意識を高めることができた。 ● 体験や調査活動が十分できるよう時間の確保が必要である。	・ 公民館 ・ 市役所 ・ 図書館 ・ 地域の10施設・事業所 ・ 学校支援ボランティア (ゲストティーチャー)
大仙市	平和中学校	地域と連携した「認知症サポーター養成講座」 全校生徒を対象に、認知症サポーターの養成講座を実施する。認知症について全校で学習するとともに、家庭や地域で自分たちができることを考え、実践する態度を養う。	○ 認知症やその症状について理解を深めるとともに、対応の心得についてクイズや寸劇などを通して、具体的に分かりやすく学ぶことができた。 ● 来年度からは1年生に絞って実施し、少人数にすることで、活発なグループワークや意見交流を深めていくことを検討している。	・ 大仙市 高齢者包括支援センター
大仙市	豊成中学校	地域の教育力を活用した森林環境学習活動 「木とふれあい、木に学び、木と生きる」 十六沢城址緑地公園内の雑木林や県の林業プログラム体験学習で間伐作業の体験をした。人間と山がよい関係を保つために森林を守ることの大切さを学んだ。 伐採された木材がどのように製材されているか、活用されているか、地域の製材所を見学したり、木育の一環として間伐材などで木彫栓抜きや木彫アルバム・リースの製作に取り組んだりした。	○ ふるさとのよさや美しさを再発見し、身近な林業資源や環境保全に対する意識が高まってきた。主体的に考え、協力して行動できる生徒も多くなってきた。 ● 本校は令和3年3月末で閉校・編入統合が決まっている。このような貴重な体験学習をいかにして継続していくかについて、統合校との引き継ぎをしっかりと行っていきたい。	・ 十六沢城址公園を守る会 (間伐作業指導) ・ 地域の製材業者 (作業の見学受け入れ) ・ 地域の造園業者 (作業の見学受け入れ) (樹木医)

2 中学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
仙北市	角館中学校	ようこそ先輩「先輩から学ぶ」時間 近隣の事業所などで活躍する本校出身者を中心に講話をしていただく。講師の方々は地元に残り、地域活性化のために貢献し、秋田の発展を支えようという気概をもっている。 講話を聞き、郷土の課題や展望について考えさせることを通して「高い志と公共の精神をもち、秋田の将来を支えていく人材の育成」を図る。	○ P T A 参観日の行事に組み込み、保護者の協力を得ながら会を進めることができた。講師の人選にも保護者が関わり、幅広い分野から講師を招くことができた。 ● 隔年開催としたため、生徒がより多くの講師から話を聞けるよう、会のもち方を検討している。	・ 割烹店主 ・ ホテル支配人 ・ 写真店主 ・ 高校教員 ・ 建設会社社長 ・ 社会福祉協議会職員 ・ 葬儀社社長 ・ 花屋店主 ・ 劇団俳優 ・ 新聞社支局長
仙北市	神代中学校	地域人材を活用した「地域探訪」 1年生の総合的な学習の時間で、「地域探訪」を行った。地域の方々と学校教育活動のねらいを共有するとともに、子どもたちに様々な歴史的建造物や文化を見せたい・伝えたいという願いに基づいて、金峰神社と神代発電所について調査活動を行った。	○ 地域の建造物や施設を詳しく知ること、先人の営みにより今の自分があること知り、感謝と思いやりの心が育まれ、ふるさとに貢献しようとする意欲が高まった。 ● 学校と地域が求める多様なねらいを達成するためには、組織的な協働体制に基づいて地域との連携を深め、連携の範囲を広げて対応する必要がある。	・ 神代中同窓会 ・ 金峰神社 ・ 東北電力 ・ 抱返り紅葉祭実行委員会
仙北市	桧木内中学校	多世代交流 多世代交流施設「山鳩館」を2日間訪問する。利用者である地域のお年寄りや地域の方々から、地元の郷土料理や昔ながらの民芸品の作り方を学ぶ活動を通して交流を深める。	○ 期日を前年よりも1週間前倒しした。お盆前の期間を避けることで、多くの利用者の方々と交流をすることができた。 ● 実施期間が夏休み中に限定されるため夏・冬の2回に分けて実施する方法も考えられる。	・ 市役所長寿福祉課 ・ 地域運営体（予算申請） ・ 郷土料理研究会（郷土料理体験）

2 中学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
美郷町	美郷中学校	「みさと働きびと」を活用した地域人材によるキャリア教育 美郷町教育委員会が発行している「みさと働きびと」に紹介されている方々を学校に招き、講話を通して働くことや学ぶことの意義について考え、自己の進路実現に向けて取り組む。	○ 地元で働く方々の講話を聞くことで、ふるさとに愛着をもち、自己の進路実現に向けて深く考える機会とすることができた。 ● 「みさと働きびと」を活用したキャリア教育の今後の有効活用について、充実を図っていきたい。	・ 美郷町教育委員会 ・ 地域の事業所 ・ 地域で働く皆様
横手市	横手明峰中学校	特色ある地域の伝統文化を受け継ぐ「岡本新内」 総合的な学習の時間で地域芸能について学ぶ活動の一つである。横手の民俗芸能「岡本新内」について、その歴史や踊り、三味線などを習い、学校祭などで披露する。地域で伝統芸能の継承に携わる方々の思いについて学ぶ。	○ 今年度は学校祭だけでなく、横手市子ども伝統芸能発表大会にも参加して演技を披露し、好評を得た。伝統芸能を継承していくことの大切さを実感できた。 ● 練習時間が限られているため、特に三味線の練習が大変である。	・ 地域ボランティア（踊り、三味線指導）
横手市	十文字中学校	あおぞらキャリア講座 横手市内で産業振興・福祉・文化活動など、広く地域活性化のための取組をされている方々の生き方や職業観についての話を聞く。郷土に愛着を感じるとともに、未来の横手や将来の自分の在り方についての考えを広げる。	○ 生徒の参加意欲が高く、市内で働く専門家の話を聞くことで横手市の新たな魅力を発見したり、自分の将来の姿を見通したりしている。 ● 6月開催で横手市議会と重なったり、民間企業の業務が活発になる時期と重なったりしたため、講師派遣が難しい業種が出てきた。	・ 秋田県森の案内人 ・ 横手消防署南分署 ・ 横手市観光おもてなし課 ・ 十文字映画祭実行委員会 ・ 横手市子育て支援課 ・ 横手市社会福祉協議会 ・ 横手市文化財保護課 ・ 横手市食農推進課 ・ 郷土料理研究家

2 中学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
県立学校	横手清陵学院 中学校	地域人材を活用した異文化理解 ----- 国際的な視野の拡大などを目的とし、本県在住であるタイ出身の方々からタイの民族舞踊を学んだりネパールでの生活体験をもつ元海外青年協力隊員の保護者の方々からフェアトレードについて学んだりする。対象は中学校国際文化部員で、その成果を中高合同の学校祭で発表する。	○ タイ出身の方々や海外での生活体験をもつ方々からの直接指導により、肌で異文化を感じたり、国際支援に貢献している実感を味わったりすることができた。 ----- ● 学校祭での発表にとどまらず、その成果や学びを新聞などにまとめ、より広く紹介していく活動も行うことができればよかった。	・ 秋田県国際交流協会 （タイの民族舞踊指導） ・ 元海外青年協力隊員 （フェアトレード紹介）
湯沢市	湯沢北中学校	地域の力を活用した「生き方講座」 ----- 現在社会で活躍している地域の方を講師として招く。職種ごとにブースを設け、講話や意見交換をして、地域の方々の生き方を学ぶ。生徒自らの生きる意欲を喚起し、職業観や勤労観を醸成する。	○ 生徒は講話から見出した課題について自分の考えを述べ具体的なアドバイスを求めることができた。自らの生き方について具体的なイメージをもつことができた。 ----- ● P T A 授業参観や学校運営協議会と同日開催とし、保護者や他地域の方々に参加してもらうことを検討している。	・ 税理士 ・ 栄養管理士 ・ コンビニ店オーナー ・ 消防士 ・ 建設業、設備保全会社 ・ 陸上競技協会事務局 ・ 整体師 ・ 介護福祉士 ・ 畜産業 ・ 公務員
湯沢市	稲川中学校	地域に支えられ、激励されていることを実感する行事 ----- 毎年受検シーズンになると地域から様々な受検生を応援する名産品が贈呈される。受検生はこの行事を通して地域に支えられ、激励されていることを実感するとともに、地域に感謝し、恩返しをしたいという気持ちを醸成している。	○ 地域からの激励を受け、マスコミにも取り上げられた。 ・ 落ちないリンゴ（28年目） ・ 合格箸（18年目） ・ 合格うどん（14年目） ・ 紅白おにぎり（4年目） ----- ● 恒例になっている感があり、生徒は当たり前のように感じている。今後、地域や社会にどのように貢献するかなどを考えさせる機会としたい。	・ J A 職員 ・ 漆器職人 ・ うどん組合 ・ 地域商店

2 中学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
湯沢市	皆瀬中学校	地域団体と連携した「全校キャンプ」 全校キャンプの計画にNPO法人や市の観光推進課の協力を得て、その在り方を協議した。計画の中で生徒会の意向を取り入れ、小安峡温泉7つの温泉旅館と観光物産館を巡ってクイズに答える「クイズラリー」（全校縦割り6グループ）を実施した。	○ 地域団体と連携し、これまでにない取組ができた。温泉街を散策しながら地域を知り、地元の方々と触れ合った。生徒や温泉旅館の方々から好評であった。 ● 地域団体との連携を更に深め、地域に根ざしたキャンプの在り方や地域の人的・物的資源を生かした体験活動をどう取り入れていくか検討している。	・ NPO法人 ・ 市観光推進課 ・ 小安峡温泉旅館
東成瀬村	東成瀬中学校	わが村体験学習 全校生徒を縦割りグループに分け、村内の事業所などを訪問する。職業体験を通して、ふるさとを知り、ふるさとを愛する心を育てる。この活動では、生徒が選択する事業所などを毎年変えることとしている。一人が3つの職業を体験することができる。	○ 生徒は働いている方々の多様な価値観と、仕事への強い使命感を知ることができた。村の魅力の発見や再認識にもつなげることができた。 ● 生徒が希望する事業所などに訪問させているが、生徒数減少のため、村内全ての事業所に生徒を振り分けることができなくなっている。	・ 自動車整備工場 ・ 建築設計事務所 ・ 温泉ホテル ・ 村保育園と児童館 ・ 調剤薬局 ・ コンビニエンスストア ・ ガソリンスタンド ・ 小学校 ・ 郵便局 ・ 村役場 （17事業所）

3 特別支援学校

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を実施している活動

学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体など
大曲支援学校	地域のよさを伝える「大仙ドッグ作り」 中学部2年生は、地域の食材を使ったホットドッグ作りを行った。地元の味を知り、よさを広めるために地域のスーパーマーケットで販売を行った。	○ 地元の味とともに、食品製造や販売に必要な衛生面や接客なども学ぶことができた。販売会は大好評であった。 ● 多くの地域人材、団体の協力を得られたが、地域のニーズも知り、本校でできることを検討したい。	・ 食品加工業者（ソーセージ、味噌、トマトジュース、パン） ・ J A職員 ・ F M放送局
大曲支援学校 せんぼく校	地域のNPO法人と協力して行った「親子食育研修会～はちみつとみつばち～」 保護者、全校児童生徒、職員を対象に実施。数種類のはちみつの試食をして味の違いを体験したり、養蜂業やみつばちについての講話を聞いたりする。活動を通して、山の食文化について興味をもち、理解を深める。	○ 数種類のはちみつの試食をしたり、養蜂業の道具を見たりして、日常できない体験をすることができた。打合せや会場準備をNPO法人とPTAが共に取り組んだ。 ● より多くの地域の人材や団体と連携して教育活動を行っていききたい。親子研修会は全校児童生徒に対応し、体験活動を多く含む内容を考えていききたい。	・ NPO法人角館里山再生プロジェクト ・ 養蜂家
横手支援学校	職業教育改善会議 ～高等部生徒への地元事業所による指導・助言～ 地元横手市にある事業所との連携により導入した作業学習製品や作業活動について、関係する事業所の担当者から生徒が直接指導や助言を受ける。助言により改善した内容を生徒が事業所の担当者に発表する。	○ 生徒の知識・技能・態度の向上につながるとともに、作業製品の質の向上にもつながっている。今年度で3年目となり、地域の事業所との連携が強化されている。 ● 事業所から受けた指導・助言を踏まえ改善や成果を上げる取組を継続していく。成果などの一層の発信と様々な分野の関係事業所の拡充を図りたい。	・ 農業関係事業所 ・ デザイン関係事業所 ・ 木材加工関係事業所 ・ 農産物直売所

1 小学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
大仙市	大曲小学校	大曲の花火「花火ボランティア」 「大曲の花火」においてになった全国からのお客様を地域の方々、地元の高校生と連携しておもてなし活動ボランティア（機敷会場で、会場案内を行う）をすることにより、将来の大曲を担っていく人材を育てる。今年度初めての活動で、5・6年生と高校生の希望者で活動を行った。	○ 初の活動であったが、小学生と高校生がペアで行った会場案内の活動は、大好評であった。たくさんのお客様を笑顔にすることができ、充実した活動となった。 ● 来年度は、他の小学校や中学校に活動を広げる予定である。ボランティアの児童が増えた際、サポートする大人が確保できるかが課題である。	・大曲商工会議所 ・大曲商工会議所青年部 ・地域コーディネーター ・大曲農業高等学校
大仙市	東大曲小学校	東大曲小地域応援隊～古四王わくわく大作戦～「ふるさと古四王展」 地域関連活動を通して制作した各学年の絵日記、探検マップ、パンフレット、ポスター、新聞、水彩画などの作品を学校近くの商業施設に展示することにより、地域活性化に貢献することの喜びと達成感を児童に味わわせる。	○ 地域に非常に喜ばれる活動になり、子どもたちの「ふるさとに貢献した」という意識や地域への愛着が高まった。 ● 今回の活動を年間指導計画にきちんと反映させ、今年度のノウハウを次年度の担任に引き継ぐことで先生方の負担を軽減させる。	・古四王神社氏子の会 ・曲陽地区環境を守る会 ・東大曲子ども見守り隊 ・イオンモール大曲 ・タカヤナギイーストモール
大仙市	内小友小学校	チャレンジデー参加「スポーツごみ拾い」 全校児童を対象に従来のごみ拾いに「スポーツ」のエッセンスを加え、今までの地域貢献活動を「競技」へと変換させたスポーツです。あらかじめ定められた地域エリアで、制限時間内に、チームワークでゴミを拾い、ゴミの量と質でポイントを競い合います。	○ ふるさと内小友を自分たちの手できれいすることができた。めあてをもち、縦割り活動で実施することにより異学年交流ができた。 ● 小学校だけではなく、地域団体と連携・協働していくことも検討している。	・大仙市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課

1 小学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
大仙市	大川西根小学校	大川西根地区敬老会演奏会 公民館が主催する「大川西根地区敬老会」に全校児童が参加し、地域のお年寄りと交流を行った。 「はばたきマーチ、旧友、アリア」の全校児童によるオーケストラ演奏や「大仙市民歌、ふるさと」の合唱などを披露した。演奏後は出席者のテーブルに児童が入り、手遊びなどを通して「ふれあいタイム」を楽しんだ。	○ 本校の全校音楽活動を支える地域の音楽後援会があるが、その還元としての活動でもあり、本校の音楽活動を更に深く理解していただくことができた。 ● 会場の山の手ホテルに楽器運搬が必要であること、セッティングに時間がかかることが挙げられる。主催者側との細かい打ち合わせが必要であった。	・ 大川西根公民館職員
大仙市	中仙小学校	八乙女学習 ～守ろう 伝えよう 地域の宝 八乙女山～ 「八乙女山を守る会」のみなさんが行っている桜守の仕事を、本校6年生がお手伝いしている2009年から続く11年目となる活動である。 樹木医のお話、八乙女山の歴史のお話、自然観察会、施肥活動、つる切り体験などを行い、八乙女山を大切に思う先輩の熱い心に触れることを通して、地域の宝を受け継ぐ意欲を醸成している。	○ 八乙女学習で学んだことを、下学年に伝える集会を行い、学習のまとめとした。全校児童を楽しませるとともに、その魅力を伝えることができた。 ● ふるさとである中仙をアピールするために、校内だけでなく、校外にも働きかける取組を進める。	・ 八乙女山を守る会
大仙市	清水小学校	学ぼう！深めよう！ふるさと清水から「黒土神楽」 昭和63年に復活した約300年の歴史をもつ黒土神楽を、6年生が下級生を指導する形で児童の間で継承している。神楽に誇りをもつとともに、地域の一員としての自覚を高めることができる行事である。毎年、どんパン祭りの際に地域にも披露している。	○ 地域の方々と触れ合う中で、自分も地域の一員であるという意識を高めるとともに、地域に貢献しているという自己有用感を実感できるようになった。 ● 地域行事参加などの教育課程への位置付け、カリキュラムマネジメントが課題となっている。	・ 黒土神楽保存会 ・ 清水分館長

1 小学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
大仙市	豊川小学校	水神社清掃奉仕活動 高学年児童が、県内唯一の国宝を有する学区内の神社で、清掃奉仕活動を毎年行っている。郷土を愛する心や地域の一員としての自覚を養う。	○ 杉の巨木が並び立っているため、落葉が大量で作業は難儀であるが、終了後は達成感を味わうことができた。 ● 学校統合も踏まえ、児童会主催の活動への移行を検討していきたい。	・ 水神社総代及び氏子
仙北市	白岩小学校	第55回白岩地区住民運動会への参加 保育園・小学校・地域住民合同大運動会は、真剣にまた和気あいあいとした雰囲気の中で競技を行い親睦を深め合う。運営はほとんど地域の方々が行っている。 小学校は全校縦割りによる三色色別対抗戦、地域住民は三地区別の対抗戦を行う。年代別競技もあり幼児から高齢者まで参加する運動会として地域に根付いている。	○ 地域の方々と触れ合うことで、地域の一員としての意識が高まり、ふるさとのよさを再認識できる。地域と学校、保護者が連携・協力して行事を運営することができる。 ● スムーズなプログラムの進行が検討課題である。小学校の種目は午前で終わるが、一般の部は午後までであるため、午後の子どもたちの掌握にも課題がある。	・ 白岩小百合保育園 ・ 白岩三地区 ・ 白岩地区コミュニティ協議会
仙北市	桧木内小学校	桧木内小中合同運動会 地域活性化に向け、これまで小学校単独の運動会を中学校、さらには地域住民も参加できる内容とし住民の一体感を醸成するとともに、住民相互の交流と親睦を図る。	○ 大好評であった。地域住民が一堂に会する場を設けたことで地域の一体感が醸成され、親睦が図れた。 ● 初の開催で地域への情報発信・提供をより密にする必要がある。種目内容など広く住民の要望を踏まえた企画・運営を検討していく。	・ 地域青年会 ・ 小・中学校PTA ・ 桧木内婦人会 ・ 桧木内地域運営体 ・ 認定こども園

1 小学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
美郷町	六郷小学校	まちづくりを自分たちの手で 六郷商店街のリノベーション活動に参加し、「自分たちにできるまちづくり」を考え、体験的な活動を通して地域の活性化に取り組む。	○ 地域とつながりながら活動する取組で自分たちの可能性を感じながら地元への愛着をもつことができた。 ● 短期間での活動となったため、より継続的にリノベーション活動に取り組む必要がある。	・ まちなかエリア活性化実行委委員会 ・ 65テラス運営合同会社 ・ 六郷家守舎
美郷町	仙南小学校	美郷にズームイン～まかせて！美郷ヘルパー隊～ 事前学習で、町内で関心をもった場所の見学をし取材する活動をしている。その学習を基に自分たちが役立つことはないか考え、訪問先でヘルパー隊として活動する。最後に活動の報告会を行い、美郷町のよさを共有する。	○ 児童が自分の住む地域から町全体へと範囲を広げ、町のよさを見つけることができた。また、積極的に地域に関わることができた。 ● たくさんの班が各訪問先に分かれて活動するため、児童の活動の掌握や指導が難しい。担任と協力者との丁寧な打合せが必要である。	・ 特別養護老人ホーム ・ ロートピア仙南 ・ 斉藤牧場 ・ 坂本東嶽邸 ・ 諏訪神社 ・ 六郷温泉あったか山 ・ 道の駅「雁の里せんなん」
横手市	栄小学校	小中合同ボランティア活動 横手南中学校の生徒、横手南小学校、旭小学校、山内小学校の5、6年生の児童が協力して、自分の町内の会館の掃除や除草などを行い、健全な勤労・奉仕の精神と公德心を育む。 7月3日（水）それぞれの町内の活動場所に、各グループで移動した。中学生のリーダーシップのもとで約1時間の活動を行った。	○ これまでも継続して行ってきた活動であり、中学生のリーダーシップのもと地域をよりきれいにしていこうという姿、中学生と仲良く活動する様子が見られた。 ● 7月の実施ということで、熱中症が心配された。勤労・奉仕の精神や公德心を育てるためにも、ボランティア活動など様々な活動にも取り組ませたい。	・ 各町内の役員 ・ 横手南中学校 ・ 横手南小学校 ・ 旭小学校 ・ 山内小学校

1 小学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
横手市	大森小学校	福祉施設などでのボランティア体験活動 総合的な学習の時間などで子どもたちが障がい者や高齢者との出会いや触れ合い体験などを通して、生命の尊さや相手を思いやる気持ちを育てている。	○ 高齢者や施設に入居している方々との触れ合い活動を通して、高齢者に対する優しさや思いやりが育まれている。 ● 各学年が相互にどのような活動をしているか、あまり理解できていないため校内に福祉コーナーを設置し、写真や子どもの感想をお互いに目にすることができるよう工夫した。	・ 老健「おおもり」 ・ 大森地域いきいきサロン ・ 介護施設「くつろぎの里おおもり」 ・ 介護施設「森の家」
横手市	十文字第一小学校	十文字地区小・中学校連携地域貢献活動「J-action～みんなで地域のために～」 全校児童が、地域や保護者の協力を得ながらボランティア活動をする。地域との深い関わりを感じながら、互いの自尊感情を高める。	○ 中学生及び児童会計画委員会が中心となって、活動及び活動前後の会を進めた。ボランティア活動を通して、地域との関わりを感じることができた。 ● 活動範囲が広域だったため、安全面の配慮が課題となった。中学校や連携する団体等との連絡及び事前準備が、教師主体となったことも課題となった。	・ 十文字地域局（各公園、公共施設） ・ JR十文字駅 ・ 十文字神社 ・ 十文字中学校
横手市	植田小学校	一人暮らしの高齢者への花のプランタープレゼント 福祉活動の一環として、全校児童が町内ごとに民生児童委員と一緒に一人暮らしの高齢者の家庭を訪問し、児童が書いた手紙と6月から育てた花のプランターをプレゼントした。	○ 高齢者の方々には大変喜んでいただいた。敬老精神が涵養され、福祉活動や地域活動へ参画する意識も高まった。 ● 施設に入られた方やもらっても花の世話ができない方もいて、プランタープレゼントを辞退する方もいた。	・ 民生児童委員

1 小学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
湯沢市	湯沢東小学校	敬老会行事での演奏・合唱 コミュニティ・スクールの活動の一環で、地域自治組織代表との情報交換会を行ったとき、一つの自治協議会から「敬老会行事に児童に参加してもらいたい」との要請があった。そこで、本校のブラスバンド部と合唱部が参加して、日頃の練習の成果を披露した。	○ 敬老会の参加者には大変好評だった。これにより、参加した児童の自己有用感を醸成することができたり、学校の活動を知ってもらう機会にもなったりした。 ● 今後、複数の自治組織から同様の要請が入ることが予想される。その調整が必要。	・ 学校運営協議会 ・ 地域自治組織代表（まちづくり協議会）（自治協議会）等 ・ 敬老会
湯沢市	三関小学校	サクランボ出発式参加 3年生の総合的な学習の時間「見つけよう！伝えよう！広げよう！三関のNo.1」でサクランボのことを調べる学習の一つとして、「JAこまちゆざわフルーツセンター」で行われたサクランボ出発式に参加した。子どもたちは「三関さくらんぼ音頭」を披露したほか、総合的な学習の時間に学んだ三関サクランボのおいしさの秘密を劇にして発表した。	○ 自分たちの学びや活動が地域のためになっていることを実感し、大きな達成感があった。JAにとっても子どもたちの参加により、事業をPRする絶好の機会となった。 ● サクランボの学習に協力していただく生産者への交渉などを学級担任が行っているので、計画時の担任の負担が大きい。	・ JAこまちゆざわフルーツセンター ・ 地元のサクランボ農家
羽後町	西馬音内小学校	西馬音内川クリーンアップ 子どもたちが自主的な奉仕活動に参加することによって“盆踊り前にきれいな西馬音内川にして観光客を迎えよう”という意識を高めるとともに、ふるさとの豊かな自然や伝統文化に誇りをもち、地域の一員として地域に貢献する意欲を育てることをねらい、実施している。	○ 任意参加のため全校児童とはいかないが、多くの児童が自発的にボランティア活動に参加し、地域の一員として貢献する意欲を高めることができた。 ● 地元西馬音内地区の児童・保護者・地域の方々の参加の割合が低下してきている。地域の環境を向上させる活動であるということをもっとアピールしていきたい。	・ 西馬音内町部振興会

1 小学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
羽後町	三輪小学校	地域の高齢者との交流会 5年生が総合的な学習の時間「三輪スマイルプロジェクト」の一環として、地域の会館に出かけ、高齢者と触れ合う活動を行う。交流を通して、相手に応じた話し方で会話を楽しんだり、準備したことを披露したりすることで、積極的に地域に関わっていききたいという思いをもつ。	○ 今年度から新しく始めた活動であるが児童は高齢者との交流を通して、自己有用感を得るとともに、さらに地域に貢献したいという思いをもつことができた。 ● 交流の内容を工夫することで、双方にとってさらに有益な活動になるようにしていきたい。	・ 町福祉保健課 ・ 町社会福祉協議会 ・ 大久保町内会

2 中学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
大 仙 市	大曲中学校	生徒会執行部による地域貢献活動 部活動としての「生徒会執行部」による地域のためのボランティア活動である。 若竹町内会、社会福祉協議会と連携して、一人暮らしの高齢者宅のゴミ出しと声かけ、ふれあい年賀状の作成、北大曲駅の清掃活動、配食利用者へのお便り書きなどに取り組んでいる。	○ 地域の高齢者にとっても好評であった。お礼の電話や手紙が学校に届いており部員たちもやりがいを感じている。 ● 今年発足したばかりの部活動のため部員が少なく、地域や関係機関からのすべての要望に応えられていない。	・ 地域学校共働会議 ・ 若竹町内会 ・ 社会福祉協議会 ・ 大曲地域くらしサポート協議会 ・ J R 東日本秋田支社（大曲駅）
大 仙 市	大曲南中学校	「角間川盆踊りの継承」 毎年8月16日には、地域の伝統行事「角間川盆踊り」が行われている。技能を高めるために、公民館や学校で地域の方々からの指導を受け、全校生徒がお囃子と踊り手に分かれて参加している。文化祭でも披露して伝統文化の継承に努めている。	○ 伝統行事の継承意識の高まりや地域の活性化にも寄与している。 ● 全校生徒数が減少しつつある。	・ 地域ボランティア ・ 盆踊り保存会（お囃子、手踊り指導） ・ 角間川公民館
大 仙 市	西仙北中学校	生徒会を中心としたボランティア活動「大綱案内人」 地域の活性化を図る取組として、平成28年度より「刈和野大綱引き」の当日に、有志が観光客や地元の方々をもてなしている。 大綱引きの歴史紹介や手作りマップを配布しての道案内、西仙北支所が行うイベントのお手伝いなどを行う。生徒が製作した大綱引きオリジナル缶バッジを販売し、収益金を活用していただいている。	○ 揃いの半纏を着ておもてなしをする中学生の取組は好評である。ボランティアに参加した生徒も手応えと達成感を感じており、地域貢献の意識が高まっている。 ● 昨年までの活動拠点「HUBスペース（空き家の活用）」が終了したことや遅い時間帯の行事であることから、寒さ対策など生徒の健康面に十分配慮する必要がある。	・ 大仙市役所西仙北支所（地域活性化推進室） ・ 西仙北中央公民館 ・ 地元商店街の皆様 ・ 大綱引保存会の皆様

2 中学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
大 仙 市	中仙中学校	秋桜プロジェクト(桜守活動) 齊内川土手の桜の木の追肥作業やせん定作業を全校生徒で行った。中仙地域桜守協議会や八乙女山を守る会の方々の指導や協力のもと、一年を通じて季節に応じた活動ができた。樹木医の話や活動を通して桜の木を守り育てようとする態度を養った。	○ 今年度からの活動であるが、桜守活動の大変さと必要性を感じることができた。桜の名所であることを再認識することができた。 ● 作業内容や時期によっては蜂や毛虫など害虫が多く、かなり危険で注意が必要であった。	・ 中仙地域桜守協議会 ・ 八乙女山を守る会 ・ 市職員 ・ 道の駅職員
大 仙 市	協和中学校	地域貢献ジャー活動(峰吉川駅清掃) 生徒会が中心になり、中学生が地域の様々なことに積極的にに関わり、自分たちが地域のためにできることに地域貢献ジャー活動として取り組んでいる。5色のベストを着用し、地域の方々からも活動の様子を見てもらうことで、生徒が自己有用感を味わえるようにしている。	○ 活動を通して、これまで以上に地域をより身近なものと感じた生徒が多くいた。地域との関わりを実感し、生徒が地域に関わろうとする意欲が高くなった。 ● 計画に時間がかかってしまい、回数は多くなかった。地域との情報交換を密にし、多くの生徒が地域とのつながりを実感できる活動にしていこうようにしたい。	・ 協和地区更生保護女性の会
大 仙 市	南外中学校	「南外地域祭」への参加 地元の支所・公民館などの主催で行われる「産業文化祭」に全校生徒が参加する。ステージでの吹奏楽部の演奏発表や、各ブースに分かれての物産販売の補助など、全生徒が地域の方々と一緒に何らかの役割を果たす。	○ 小・中学生が参加することにより、行事がより活気付いた。児童生徒の家族も訪れるなど、参加者数の増加につながった。 ● もっと中学生ならではの活動ができるよう、企画の段階での工夫が必要である。	・ 南外支所職員 ・ 南外公民館職員 ・ 赤十字南外支部職員

2 中学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
大仙市	仙北中学校	国指定名勝「旧池田氏庭園」ボランティア 中学2年生が「庭園内を案内する係、それぞれの持ち場で説明する係、庭園内の清掃活動をする係」等を分担し、訪れたお客様に喜んでもらっている。郷土を代表する文化遺産での活動を通して、ふるさとの有り難さや人との関わりと温かさを実感するよい機会となっている。	○ 2年生の時に郷土の文化遺産についての知識を深め、自分たちとは違う視点から地域の遺産の価値を学ぶことにより、ふるさとに誇りをもつことができた。 ● 2年生全体での活動となっており、少人数での活動にして充実感をより高めることができる工夫が必要である。	・大仙市文化財保護課 ・顕彰会ガイド
大仙市	太田中学校	ハートフルフラワープロジェクトと除雪ボランティア ハートフルフラワープロジェクトは、3年生が8月に学区内の一人暮らし世帯へ学校で育てた鉢植えの花をプレゼントし、10月末に鉢の回収を行う。除雪ボランティアは、1・2年生が前述の世帯の軒下の除雪を行う。地域に貢献する活動を通して、地域の方々の現状や課題を考える。	○ 今年度の新企画で好評であった。一人暮らしの方々の想像以上の喜びに生徒たちは感激し、地域の方々との交流の大切さを体験できた。 ● 約40軒程度の訪問であるが、実際の一人暮らし世帯は150軒を超えている。可能な限り全世帯に対応したいと考えているが、生徒数の減少もあり、今後の対応が課題である。	・大仙雪まる隊太田支部 ・太田地区社会福祉協議会 ・太田中学校応援隊 ・大仙市役所太田支所市民サービス課
仙北市	生保内中学校	田沢湖畔白浜クリーンアップ活動 1年生が地域の団体「ざっくばらんの会」会員を中心とした地域の方々とともに田沢湖畔の清掃活動を行ったり、地域の自然や環境問題について考えたりして、地域に貢献する思いを醸成する。	○ 湖畔をもっときれいにしたいという思いをもつようになった。また、小学校と共に活動することができた。 ● 単なる清掃活動にとどまらず、地域の自然環境を考えられる活動となるように、系統性のある小中連携が今後の課題となる。	・ざっくばらんの会 ・仙北市役所職員 ・生保内小学校

2 中学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
仙北市	西明寺中学校	地域に根ざした学校を目指して 「地域の方々と継続的に交流し、地域貢献活動に進んで取り組む心を育てる」「他を敬う気持ちや自分を支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを養う」「地域の一員として自分にできることを考え、実践する力を高める」 これらをねらいとして、フラワーロードの一斉植栽への参加や高齢者宅の訪問・空きビン回収を行っている。	○ 活動を通して、地域のためになることを考えられるようになるとともに、感謝の言葉をいただくことで自己有用感が高まっていると感じる。 ● 高齢者宅の訪問を受け入れてくれる所を確保するのが年々難しくなっている。今年度は除雪ボランティアをするにも雪が無く、活動内容に関しても検討が必要と思う。	・ 仙北市教育委員会（生涯学習課、社会福祉課） ・ 介護老人保健施設
横手市	横手南中学校	NAC小中合同ボランティア 横手南中学校区の小学校4校の5・6年生と中学生が合同でクリーンアップ活動を行う。 7月3日(水) 14:00～15:00	○ 生徒の振り返りを見ると、地域のために貢献できたことや後輩の世話をしたことは自尊感情や自己有用感を高めるために有効であった。 ● この時期だけの単発な活動ではなく、事前、事後の道德や特別活動と連携しこの活動がそれ以外の教育活動にも好影響が出るように支援していきたい。	・ 横手南小学校区 13町内13グループ ・ 旭小学校区 4町内11グループ ・ 栄小学校区 2町内4グループ ・ 山内小学校区 1カ所3グループ ・ それぞれの地区代表者（町内会長等）
横手市	横手北中学校	かまくらボランティア活動 旧鳳中学校が参加していた伝統行事「かまくら」を、全校生徒を対象としたボランティア活動として引き継いでいる。 当日は蛇の崎橋川原に2000個程度のミニかまくらを作製したり、100名程度の有志がかまくら接待で、観光客のおもてなしをしている。	○ 地域の一員として横手市の伝統行事を継承し、横手市内外の観光客の方々と触れ合い、お話をすることで、ふるさと横手のよさを再発見することができた。 ● かまくら接待において、横手市のことやかまくらについて聞かれることがしばしばあり、最低限度の事前学習が必要である。	・ 横手市商工観光部（観光おもてなし課） ・ 横手市観光協会 ・ かまくら委員会

2 中学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
横手市	増田中学校	「蔵の日」ボランティア 地域の行事「蔵の日」に全校生徒が参加した。町ガイド役・内蔵ガイド役・券売補助役・アンケート調査役に分かれて運営に協力した。吹奏楽部や和太鼓チームも会場のイベントに参加し、演奏で行事を盛り上げた。	○ 中学生の活動は観光客にも好評であった。中学生にとって地域の歴史と文化を学ぶ機会であり、他人の役に立つことを実感する場でもあった。 ● 十分な準備、円滑な活動、的確な振り返りを進めるためにも関係機関との入念な打合せが必要不可欠である。	・「蔵の日」実行委員会 ・増田町観光協会 ・増田地域局 ・一般ボランティア参加者 ・公開内蔵所有者の方々 ・商店街の方々
横手市	平鹿中学校	浅舞公園「あやめまつり」ボランティア 生徒会活動のボランティア委員会と希望する生徒が地域の初夏のイベントに参加した。あやめ株販売ゲームや催し物の手伝い、主会場の環境整備や美化などの多様なボランティア活動に取り組む。	○ 生徒が地域住民や観光客と有意義な関わりをもつ機会となった。地域の一員としての自覚や有用感が醸成され、参加生徒のみならず全校生徒への波及効果大きい。 ● 外部からの要請だけでなく、地域へのより積極的な関わりを進める学校主体のボランティア活動も展開していきたい。	・市役所の地域局 ・地域の商工会や各事業所
湯沢市	山田中学校	YAMACHuコーポレーション (地域の魅力を発信する総合的な学習の時間) ふるさとに深く思いを寄せ、ふるさと山田の魅力を発信することで、山田、ひいては湯沢の活性化を期した起業教育である。全校生徒で会社組織をつくり、地元の特産物を利用した食品等の商品を開発。地元事業所や企業と協働して宣伝・販売も行った。湯沢市学校給食センターには給食の献立に採用してもらった。	○ 人との関わりの中で一人一人の生徒が大きく成長し、School Identity の醸成に大きく寄与した。 ● 具体的な年間計画の整備。休日等の学習活動の精選と協力体制づくり。中学生ができる社会貢献について、さらに学習を深める。	・湯沢市教育委員会 ・学校給食センター ・地域学校協働本部 ・自治会連絡協議会 ・湯沢ストリート村 ・秋田魁新報社 ・味噌醸造所 ・食堂 ・レストラン ・アクセサリー作家

2 中学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

市町村	学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
湯沢市	湯沢南中学校	キャップアートの湯沢駅への設置 ペットボトルのキャップを使って湯沢市を紹介する「キャップアート」を地域の方々と協力して作製する。作品を多くの人の目に触れる場所に設置し、湯沢市をたくさんの方々に発信する。	○ キャップアートの完成には多くの方々のご協力をいただき、地域の方々と協力、情報発信は、どちらも達成することができた。 ● 湯沢市の魅力を情報発信していく手段がマンネリ化しないよう工夫、改善していく。	・ 南中祭来校者 ・ 湯沢市役所建設課 ・ J R湯沢駅
湯沢市	雄勝中学校	学校祭で地域の活動団体と協働の取組 学校運営協議会で話題となり、学校祭において、地域の交流センターで活動しているサークル・団体の展示コーナーを設けた。製作した手芸作品などを展示し、その活動を紹介した。	○ 初めての試みであったが中学生のいない家庭からも高齢の方々を中心に多く来校し、中学生の学習活動や作品、活躍などを見ていただく機会となった。 ● 場の設定などスペースの確保に余裕があったので実現できた。次年度は規模を拡大し、販売やチャリティーなどを検討している。	・ 地域活動団体（よりみちサロン）（手芸教室）
羽後町	羽後中学校	「ゆきとぴあフォーラム」への参加 地域の方が主催されている「五行歌」の歌会を2年生全員と羽後高校の生徒会の生徒が参加して行っている。生活の中で生まれた歌を披露しながら互いの作品のよさを味わう。また、ふるさとに生き暮らす中でこそ生まれる歌があることを知り、郷土を愛する心情を育み、日常の暮らしに目を向けることで自らの生き方を考える。	○ 五行歌をつくることに戸惑っていた生徒が、歌会を通してその味わいを知り地域の生活の中にあるよさに目を向け自分の生き方を見つめるきっかけにすることができた。 ● ある程度慣れていないと、考えたことや感じたことを表現するのは困難を伴う。そのための時間の確保が難しい状況である。	・ ゆきとぴあ七曲実行委員会

3 特別支援学校

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
稲川支援学校	「全国まるごとうどんEXPO 2019 in秋田・湯沢」におけるボランティア活動 ----- 高等部生徒23名が運営ボランティアとして、リサイクルステーション内での食器回収等を行った。	○ 参加した生徒は人の役に立ち、感謝される体験を通して、達成感や充実感を味わうことができた。 ----- ● ボランティア活動に参加するに当たって、事前学習や振り返りの時数の確保が十分ではなかった。	・ 全国まるごとうどんEXPO 実行委員会

〔活動内容〕③ 主に学校と連携して実施している活動（放課後子ども教室事業等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
大仙市	民謡体験教室（わくわく体験教室） 1月24日・31日の2日間、大仙市立東大曲小学校を会場に3・4年生（29名）を対象にした民謡体験教室を開催した。	○ 子どもたちは楽しみながら体験学習を実施することで、郷土文化である民謡のよさを感じたり、興味をもつきっかけとなったり、郷土愛の醸成と伝承につながった。	・ 大曲民謡研究会
生涯学習課	民謡研究会会員を指導者として民謡特有の唄いや手踊り、和楽器の奏法に関する体験学習を実施した。郷土文化である民謡についての理解を深めた。	● 指導者の高齢化に伴い、持続可能な事業の仕組みづくりとして新たな指導者育成が必要である。	
仙北市	ようこそ！ふるさと先生 ～地域の自然・歴史・文化を学ぶ～ 西明寺小学校との協働事業として、同校の開校記念日に体験を通したふるさと学習を展開する。	○ 地域の方々との交流により、歴史や文化を知るきっかけになった。ふるさとのよさに気付くことにより、自らの将来を考えながら学びを広げる心が育成された。	・ 生涯学習サークル ・ 生涯学習奨励員 ・ 小学校教職員
西木公民館	1・2年生は紙工作体験、3年生は田沢湖にまつわるお話し会、4年生は茶道体験、5年生は写真教室、6年生は角館の歴史巡りを行った。	● 休憩時間を取らずに2時間以上の授業を行ったため、特に低学年の児童が途中で飽きてしまった。飽きさせない工夫や休憩の取り方を考えていきたい。	
美郷町	自衛隊コンサート 住民に優れた音楽に触れる機会を提供し、心豊かに生き生きとした町づくりに寄与することを目的に開催している。	○ プロの演奏家からの指導により、演奏技術の向上が図られた。運営補助に携わることで、音楽隊や来場者との交流が図られた。	・ 中学校
美郷町公民館	・ 自衛隊コンサートの開催 ・ 自衛隊音楽隊による中学校吹奏楽部への演奏指導	● 23回目の開催である。歴史のあるコンサートであるが、今後の継続開催が課題となっている。	

〔活動内容〕③ 主に学校と連携して実施している活動（放課後子ども教室事業等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
横手市	学校支援活動	○ 地域人材を活用することで、教育活動の多様化・活性化を地域で支えることができた。	・ P T A ・ 老人会 ・ 婦人会 ・ 保育園 ・ 生涯学習サークル ・ 公民館職員 ・ 高校生 ・ 地元企業及び事業所
生涯学習課	学校の教育活動に協力してくださる方々を学校支援ボランティア（約200名）として登録している。学校は必要な人材を登録名簿から探し、依頼することができる。学校と地域住民との連絡調整を行うコーディネーターも順次配置し、地域の活動に学校側も関わり、双方向型の活動を推進している。	● 活動の多くが学校支援であるため、地域と学校が双方向で行える活動が少ない。	
羽後町	ニュースポーツ体験（放課後子ども教室）	○ 地域の高齢者と触れ合いながら、グラウンドゴルフを体験した。異学年交流と高齢者との交流が行われた。	・ 田代地区グラウンドゴルフ協会
教育委員会	高瀬小学校の放課後子ども教室の際に、地域のグラウンドゴルフ協会の方々に講師をお願いし、グラウンドゴルフ体験を行った。地域の高齢者からルールを教えてもらいながらニュースポーツと交流を楽しんだ。	● 継続的な実施を予定したが、天候等の心配から1回しか実施できなかった。次年度は定期的に開催し、高齢者との交流を盛んにしたい。	
東成瀬村	放課後子ども教室 仙人郷「虎の穴」	○ 世代間交流を行い、多くの人との関わりの中で活動できた。運動・スポーツに関する興味・関心を高め、子どもたちの健康づくりに寄与できた。	・ 小学校 ・ 中学校 ・ 児童館 ・ 地域ボランティア ・ 地域おこし協力隊 ・ 老人クラブ
教育委員会	児童館において、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体型で実施しており、放課後の子どもたちへの学習指導や安心・安全の場の提供を行っている。地域おこし協力隊を講師に迎え、様々な運動・スポーツを体験する放課後スポーツ教室やジュネス栗駒スキー場で地元スキークラブの方々の指導のもと子どもスキー教室を開催している。	● 地域指導者の高齢化及び減少に伴い、知識や技術の伝達が課題である。新たな人材の発掘・育成が必要である。	

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
仙北市	子ども演劇体験講座	○ 回を重ねるごとに、子どもたち同士だけでなく、講師や職員へも積極的に話しかけるなど、コミュニケーション能力の向上が見られた。	・ わらび座劇団 ・ 小・中学校教職員
生涯学習課	夏休みの4日間、市内の小・中学生を対象に、演劇体験講座を実施する。演劇を通じて、子どもたちの豊かな表現力やコミュニケーション能力の向上を図る。仲間と一緒に劇を作り上げる達成感を体験させることを目的とする。	● 上演中の作品のセットを使ったり、役者から直接学んだりしているため、受講者の満足度はとても高い。しかし、その魅力を周知の段階で十分に伝え切れていない。	
仙北市	公民大学の学習支援・交流活動	○ 学ぶ機会の少ない陶芸や園芸を地域の方々（公民大学講師・生徒）が学習支援をすることで、興味や関心をもってもらうことができ、世代間交流にもつながっている。	・ せんぼく校職員 ・ 公民大学書道学科 ・ 公民大学園芸学科 ・ 公民大学陶芸学科
角館公民館	仙北市公民大学の生徒や講師が大曲支援学校せんぼく校のゲストティーチャーとして、学習支援や地域との連携に取り組んでいる。	● 児童生徒が学んだ成果を生かす場がなく、公民館などの公共施設に作品や活動内容を展示できるスペースを検討したい。	
仙北市	生保内節盆踊り大会	○ 地域の伝統文化に触れることで世代間の交流が図られるとともに、郷土文化も継承されている。	・ 地域の企業（16社） JR田沢湖駅、商店 銀行、郵便局 他 ・ 認定こども園 ・ 小学校教職員 ・ 地域ボランティア
田沢湖公民館	田沢湖地域発祥の「生保内節」を毎年8月「盆踊り大会」として開催している。今年度で49回目を迎える。 生保内小学校と協力して盆踊りへの参加や芸能アトラクション、保護者と共に屋台を出店するなど、大会を盛り上げている。	● 少子高齢化、世代間による伝統行事への関心の低下により、年々参加者が減少している。	

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
美郷町	わくわくスクール	○ 体験活動や学習を通して、子どもたちの健やかな成長や自主性、創造性、協調性が育まれた。保護者間のつながり構築に寄与した。	・ 地域ボランティア ・ 家庭教育支援チーム
美郷町公民館	町内の小学生を対象に、長期休業期間中に子どもたちの体験活動と居場所づくりを兼ねて開催している。地元で活躍されている方や有資格者を講師に招き、地域学校協働本部と家庭教育支援チーム（町生涯学習奨励員協議会）の協力を得ながら実施している。	● 小学校高学年はスポ少活動などで多忙のため、参加率が低い。	
横手市	家庭教育支援事業	○ 保護者同士が情報交換することで、悩みや不安が軽減された。学校や行政機関以外の相談の選択肢が増えた。父親同士が子育てについて考え、交流を深める場を創出することができた。	・ 横手市家庭教育支援チーム ・ 横手市PTA連合会 ・ 公民館職員 ・ パパサークル
生涯学習課	元保育士やスクールソーシャルワーカーなど多彩な地域人材で構成する横手市家庭教育支援チームが子育て中の保護者の学びや育ちを応援する交流会を今年度は3回開催した。授業参観や就学時健診、市PTA連合会研修会などでの周知活動も行い、悩みを抱える保護者からのメールや電話での相談にも対応している。 父親の家庭教育参加促進による家庭での教育力の向上を目的に、父親と子どもを対象とした体験講座を「パパ'sサークルピーターパン」に協力をいただきながら年2回開催。「お父さんと挑戦！段ボールでうちづくり」は特に人気で、20組40名の定員に対し、50組100名の応募があった。	● 多くの保護者に活動を知っていただくためのPR方法。	

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
横手市	横手市わくわく子ども教室	○ 教室スタッフとして地域住民約80名の協力のもと、自学のサポートと多様な体験活動が実施できている。核家族が増える中、あらゆる年代や立場の方と触れ合える場になっている。	・生涯学習サークル ・教員OB ・公民館職員 ・ジュニアリーダー ・高校生ボランティア ・地元企業及び事業所
生涯学習課	長期休業中の子どもたちに地域住民の参画による様々な体験活動の機会を提供している。 今年度は夏休み中は10日間、冬休み中は5日間、公民館などに16教室を開設。活動時間は午前9時から正午までで、前半が自主学习、後半が体験活動。体験内容は、地域巡りや理科実験、茶道、昔語り、ヒップホップなどと多彩。	● 小学1～6年生と幅広い募集に加え、サポートが必要な児童もあり、体験活動内容によっては、目が届きにくいこともある。指導者の資質向上とボランティアの確保など運営体制の一層の改善を目指す。	
湯沢市	新春書き初め大会	○ 新年らしい恒例行事として定着し、学校以外での学習活動の発表の場となっている。よき伝統文化の継承も担っている。	・地域の書道指導者 ・各学校長及び担当教職員 ・生涯学習センター職員
稲川生涯学習センター	小・中学生を対象に新年を迎えた気持ちを日本の伝統文化である「書」で表すことで、子どもたちの心を育み、参加者の交流を図ることを目的に実施している。 半紙の部と条幅の部で最優秀賞、優秀賞、優良賞を審査し、賞状を授与する。作品は審査後に展示、公開する。皆瀬生涯学習センターとの共催事業である。	● 児童生徒の減少に伴う参加者の減少や冬期間のため会場までの送迎と会場の駐車スペースが課題である。	
湯沢市	湯沢市・平内町交流事業 「山の子・海の子 なぎさの教室」	○ 1泊2日の限られた時間であったが、学年や男女関係なく楽しく交流することができた。	・NPO法人こまちハート・オブ・ゴールド （地域総合型スポーツクラブ） ・院内ふるさと学校 ・院内未来塾 ・地域おこし協力隊 ・大学生ボランティア ・生涯学習センター職員
雄勝生涯学習センター	今年度は平内町が会場となり、雄勝小学校からは5・6年生の希望者30名、平内町からは20名が参加した。 1泊2日の児童交流プログラムを実施した。 ・地引き網体験 ・山本護太郎博士記念碑見学 ・磯遊び ・バーベキュー ・花火大会 ・浅虫水族館見学 など	● バスでの移動時間が、休憩を挟み4時間50分と長い。バスの関係上、参加者に制限がある。 （今回39名の参加申込あり）	

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	○成果／●課題	連携した地域人材や団体等
羽後町	住民運動会（住民体育大会） 8月18日に1地区、24日に7地区の住民運動会を実行委員会形式で実施した。幼児から高齢者まで参加し、地域内の交流が盛んに行われた。小学生はそれぞれの出身地域の運動会に参加し、一緒に地域住民との交流を楽しんだ。	○ 地域住民と小学生が触れ合うことのできる数少ない機会となっている。地区内の住民との交流の場となっており、地域とのつながり、住民同士の交流が深まった。 ● 悪天候のため、2地区での運動会が中止となった。地域の参加者が年々減少しており、今後の在り方や内容などを検討する必要がある。	・ 各町内会 ・ 公民館職員
各地区公民館			
羽後町	スケート教室（移動公民館） 1月8日に町の公民館バスなどを利用し、秋田県営スケート場にてスケート体験を行った。高瀬小学校の児童とその保護者が参加対象となるため、新たなつながりは少ないが、異学年交流や親子の触れ合いが深まった。	○ 親子の触れ合い、異学年交流や保護者同士の交流も深まった。 ● バスを利用した移動教室のため、参加者数の制限と時間の制約がある。家庭教育や社会教育としての学びの時間が少ない。	・ 公民館職員
田代公民館 仙道公民館			